

戦後75年 舞鶴引揚記念館・平和祈念展示資料館 特別連携企画 第1弾

『おとうさんの絵本 大連のうた』絵画展開催のお知らせ

戦後75年・海外引き揚げ開始75年の節目となる本年、舞鶴引揚記念館と平和祈念展示資料館（総務省委託・東京都新宿区）は、シベリア抑留者や海外からの引揚者の体験にふれ、平和の尊さについて改めて考える機会を提供するため、連携して両館の所蔵資料を互いに紹介する企画展やフォーラムなどを開催する予定にしています。

今回は、連携企画の第1弾として、平和祈念展示資料館が所蔵する大連からの引き揚げ体験者が描いた絵本の原画を舞鶴引揚記念館で企画展として紹介することとなりましたので、お知らせいたします。

1. 事業(企画展)名

平和祈念展示資料館・舞鶴引揚記念館 戦後75年特別企画
「おとうさんの絵本 大連のうた」絵画展

2. 展示期間

令和2年7月23日（木・祝）～9月16日（水）9:00～17:00（入館は16:30まで）

3. 展示場所

会場：舞鶴引揚記念館 企画絵画展示室（京都府舞鶴市字平 1584 引揚記念公園内）
入館料：一般…個人 400 円、団体 300 円／学生…個人 150 円、団体 100 円

4. 展示内容

中国の大連からの引揚者である川崎忠昭さんが、当時、海外で暮らしていた日本人や、戦争のことを知らない息子のために描いた絵画作品（平和祈念展示資料館所蔵）を紹介する特別企画展です。

「おとうさんは中国で生まれたのに、どうして中国人じゃないの？」小学1年生の息子の問いをきっかけに、忠昭さんは自分が子どもだった頃の記憶をもとに絵を描きました。その絵に妻のキヌ子さんが詩を添えて、できあがった絵本が『おとうさんの絵本 大連のうた』です。

ともだちと遊んだ日々、迫りくる戦争の影、大好きなふるさとの別れ…。子どもの目線でとらえた、大連でのさまざまな思い出を描いた絵画を通して、75年前の戦争を知り、海外からの引揚者の方々について考える機会を提供すると共に、幅広い世代の人たちに抑留者と引揚者の体験を伝え次世代への継承をはかります。

【お問い合わせ先】

舞鶴引揚記念館：☎0773-68-0836、FAX0773-68-0370
E-Mail：hikiage@city.maizuru.lg.jp



5. 展示資料

川崎忠昭氏の絵画 3 2点ほか

展示紹介（一部）

		
たか足おどり	露店市場の小鳥売り	そりすべり
		
ロシヤ町	アカシヤ並木 ◎	負けた日本兵 ◎
		
女ロシヤ兵	さよなら大連 ◎	絵本の感想を綴った 森繁久彌氏（俳優）の手紙

※ ◎の画像は広報広聴課にあります

◎川崎忠昭さんプロフィール

昭和7（1932）年：中国の大連で果樹園を経営する家に7人兄弟の末っ子として生まれる。

引き揚げるまでの幼い日々を大連で過ごす。

昭和22（1947）年：終戦後、15歳で母と姉と共に熊本県に引き揚げる。

大学卒業後は、商業デザイナーとして活躍する。

昭和53（1978）年：『おとうさんの絵本 大連のうた』が出版される。

昭和54（1979）年：47歳で逝去。

【お問い合わせ先】

舞鶴引揚記念館：☎0773-68-0836、FAX0773-68-0370

E-Mail：hikiage@city.maizuru.lg.jp



◎森繁久彌さんの手紙について

森繁久彌氏(大正2〔1913〕～平成21〔2009〕年)はNHKのアナウンサー、川崎さんは果樹園経営の子供と詳細は異なりますが、二人とも引揚者でした。このことから『大連のうた』が森繁氏に贈られました。森繁氏は『大連のうた』を読み、絵本に描かれた大連の様子について「まったくこの本にあるとおりです」と感動され、この手紙を送られたそうです。

5. 連携事業の実施にあたって——平和祈念展示資料館 増田弘名誉館長のコメント

平和祈念展示資料館は平成12年の開館以来、さきの大戦における、兵士、戦後強制抑留者(シベリア抑留者)、海外からの引揚者の労苦に関する資料の展示を行うとともに、より多くの幅広い世代の人々に体験者の労苦を伝えるため、他施設と連携した活動にも取り組んでいます。

舞鶴引揚記念館と平和祈念展示資料館は、シベリア抑留者と海外からの引揚者の体験を次世代に語り継ぐという共通する重要なテーマを持っており、戦後75年という節目の年に、目的を同じにする2つの資料館が連携事業を実施することは大変意義深いものであると考えています。

両館で開催する展示会や合同で行うフォーラムを通して、シベリア抑留者と海外からの引揚者の方々の苦しくつらい体験について、理解を深めていただければ幸いです。

6. 連携事業の今後の予定 ※詳細は決まり次第お知らせいたします

- ① 8月中旬 増田弘名誉館長によるミュージアムトーク
- ② 11/17～29 平和祈念展示資料館でのユネスコ世界記憶遺産登録5周年記念企画展「(仮称)世界の記憶“舞鶴への生還”コレクション展」の開催
- ③ 11月中旬 戦後75年特別記念フォーラムの開催
※次世代への継承をメインテーマに、舞鶴引揚記念館中高校生の語り部と東京の若い世代との交流ほか

《参考》

舞鶴市と大連市の友好都市提携

大連市と舞鶴市は引揚者が日本に向けて出航した港と迎え入れた港としての縁がつながり、昭和57(1982)年に友好都市提携を結び、現在も青少年をはじめとする市民交流や文化交流などを通じて友好の絆を深めています。



【お問い合わせ先】

舞鶴引揚記念館：☎0773-68-0836、FAX0773-68-0370
E-Mail：hikiage@city.maizuru.lg.jp



平和祈念展示資料館（総務省委託）

平和祈念展示資料館は、第二次世界大戦における、兵士、戦後強制抑留者および海外からの引揚者の労苦（以下、「関係者の労苦」）について、国民により一層の理解を深めてもらうため、関係者の労苦を物語る様々な実物資料、グラフィック、映像、ジオラマなどを戦争体験のない世代にもわかりやすく展示しています。また、資料を有効活用し、効果的な方法で幅広く労苦を語り継ぐため、全国で展示会などの館外活動を行っています。

平和祈念展示資料館（総務省委託）

〒163-0233 東京都新宿区西新宿 2-6-1 新宿住友ビル 33 階

TEL. 03-5323-8711 / FAX. 03-5323-8714

<https://www.heiwakinen.go.jp>

【お問い合わせ先】

舞鶴引揚記念館：☎0773-68-0836、FAX0773-68-0370

E-Mail：hikiage@city.maizuru.lg.jp

